

登録コード	E8003300	開講年度	2026				
授業科目	国語科指導法特論					担当教員	八木 雄一郎
英文授業名	Special seminar of the methodology of Japanese teaching					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限		対象学生
講義室	教育M402講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・初等・中等国語科教員に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	戦前の国語科教育関連文献を分析した上で、実際に国語科授業のVTRを視聴し、研究カンファレンス及び観察レポートを行う。 「国語」という教科を履修させることの意味について理解と考察を深める。						
(5)授業計画	受講者の実態により、以下のシラバスは必要に応じて変更します。 第1回：ガイダンス 第2回：明治期の国語教育論 ～ 概要 ～ 第3回：明治期の国語教育論 ～ 話すこと・聞くこと ～ 第4回：明治期の国語教育論 ～ 書くこと ～ 第5回：明治期の国語教育論 ～ 読むこと ～ 第6回：大正期の国語教育論 ～ 概要 ～ 第7回：大正期の国語教育論 ～ 話すこと・聞くこと ～ 第8回：大正期の国語教育論 ～ 書くこと ～ 第9回：大正期の国語教育論 ～ 読むこと ～ 第10回：昭和期の国語教育論 ～ 概要 ～ 第11回：昭和期の国語教育論 ～ 話すこと・聞くこと ～ 第12回：昭和期の国語教育論 ～ 書くこと ～ 第13回：昭和期の国語教育論 ～ 読むこと ～ 第14回：総括、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	評価は、演習で担当する授業の記録・分析の内容をもとに、目標の達成度を測る。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	秀：授業に精勤し、内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業にほぼ精勤し、内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業におおむね精勤し、内容をだいたい理解し、講義内容をほぼ理解するとともに、与えられた課題演習に誠実に取り組み、円満な活動成果を示している。 可：授業に全体の3分の2以上出席し、内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。						
(8)事前事後学習の内容	E-ALPS上に課題及び制作物の提出場所を示すので、それをもとに事前事後学習を行う。						
(9)履修上の注意	事前に当該の文献を入手し、予習を欠かさないこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いた時間であればいつでもでも相談に応じます。 Mail: yagi_yu@shinshu-u.ac.jp TEL: 026-238-4076						
【教科書】	全国大学国語教育学会編『国語科教育学研究の成果と展望』 溪水社 小学校学習指導要領解説国語編						
【参考文献】	授業内にて指示する。						